

大島くるみ病院だより



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 樫の木会
大島くるみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野 48 番地

Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016

<http://www.kurumi.or.jp>



2008 納涼祭

日時：平成20年8月6日 18:00～

場所：大島くるみ病院 北2Fホール

1. 始めの挨拶 長堀院長
2. 盆踊り ～越中おわら節～
レクリエーション委員会
3. 歌 ～キラキラ星～
森のこびと保育室
4. 体操 ～まつり～ 参加者全員
5. カラオケ
～さざんかの宿～ 市森 誠一様
～好きになった人～ 林 洋子様
～長崎の鐘～ 若林 孝雄様
6. ダンス ～羞恥心～
レクリエーション委員
7. 越中大島太鼓



大島太鼓
すごい迫力だね！



作業療法の役割

今年から、大島くるみ病院のリハビリテーション部門に『作業療法』が加わりました。リハビリテーションという言葉から、皆さんはおそらく病院の訓練室で歩く訓練や身体を動かしている様子を連想されると思います。実は、それはリハビリテーションの中の理学療法（PT）と呼ばれるものです。作業療法はリハビリテーション訓練の一部で、身体だけではなく心の障害にも関わり、色々な作業や活動を使って訓練します。

では、作業療法の作業活動とはどのようなものでしょうか。作業活動の範囲は広く、歩く・人と話す・食べる・仕事・遊ぶ・何かに触る・笑う・空を眺める…など、私達の生活に関わる事すべて、私達の生活そのものなのです。簡単に言おうとしても難しいですが、

- ① その人が意欲的に取り組めるような（興味・関心のある）活動。
- ② その人の伸ばしたい部分（筋力・バランス・集中力・人との関わり方など）が含まれる活動。

この2つを考慮し、生活するための動作・活動を練習します。そして集中して活動に取り組むことで、心身ともに種々の効果が得られ、その積み重ねが、生活の向上へとつながっていきます。

生きる上での不安や心配を和らげ、こころの安定を得る。生活に対する意欲を持つ。新たな生きがいを作り自発的な生活を送る。これらを目的としたものが作業療法です。

作業療法士 糸井 芳子

第3回 研究発表会

7月26日に当院で行われました研究発表会、

その中から今回は、保育室の『保育室における院内感染予防策 -私達に出来る事-』をテーマにお伝えします。

<はじめに>

発表者：庄司 智香・山本 麻奈未

保育室の病院における役割とは、お子様のお母さん達に、安心して働きやすい環境を提供するお手伝いとして存在し、また利用しておられる患者様、そのご家族様に子供達の無邪気な笑顔を通して和んでいただくことです。

しかし実際は、保育室内で感染症がまわり、お子様を安心して預けられない状況になったり、他のお子様の感染症が移ったりする事も少なくありません。また、子供たちや、私たち保育士が病院全体に感染源となる場合も考えられるのです。この研究発表会の機会に私たちが感染を予防するために、今できることは何かを考え、実行していかなければいけないと思い、このテーマをあげました。

<学習課題>

乳幼児に関連の深い感染症について学習し、薬剤師・看護師とともに感染予防策の見直しをする。

<結果>

乳幼児における感染症について保育士全員が学習し、それぞれの感染症の病原体や感染経路・症状などを理解しました。それらの知識を得る事によって、感染症の早期発見につながり、今まで行ってきた消毒法や清掃の仕方の見直しが出来ました。すぐに成果をあげるというわけにはいきませんが、以前に比べ保育士の知識が増えたことが利用しておられる方々の安心感には繋がったのではないかと思います。

<考察>

保育士ひとりひとりが、乳幼児におこる感染症を学習し、理解する事によって私達の感染症に対する考え方、取り組み方も変わってきたように思います。子供たちの様子を観察する事は、保育士の当たり前の業務ですが、その観察から「おや？」といつもと違う事に気づき、感染症の症状を知っていれば「もしかしたら？」に繋がります。また、感染経路や潜伏期間などを理解する事で、正しい対処が出来てくるのではないのでしょうか。

これからも定期的に学習を続けていき、自信を持って存在する保育室でありたいと思います。

お知らせ

南3階病棟(医療保険適用)の入院費請求書に同封の「医療区分・ADL区分に関わる評価表」について、分かりにくいとご指摘頂いております。今後はこの

件に関して担当者より説明させていただきますので気軽にお問い合わせください。

担当 ナースセンター(病棟師長)・病院窓口(医事課職員)

曜日 ナースセンター(毎日)・病院窓口(月～土)

時間帯 9:00～17:00

100歳のお祝い



8月7日、北2階へ入院中の大橋 きみ江様が100歳を迎えられました。

これを記念して射水市の分家市長より記念品が贈呈されました。おめでとうございます。

《編集後記》テロという物騒な事まで心配されていた北京オリンピックも無事に終わり、近頃は朝晩涼しくなり過ごしやすくなってきました。でもこの時油断すると夏の疲れが出て体調を崩してしまいます。これから食卓に上る秋の味覚を満喫するためにも健康には気をつけたいと思っております。

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。

信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。

地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。

平成18年4月1日改定

運営指針

1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。

2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。

3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。

4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。

5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。

6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。